

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

令和 7 年 4 月 3 0 日

都道府県知事 殿

病院名 独立行政法人 労働者健康安全機構 中国労災病院
開設者 独立行政法人 労働者健康安全機構 理事長 大西 洋英

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。
また、併せて、同省令第 9 条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。
（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

1 基幹型臨床研修病院 2 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・ 項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
- ・ 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 1 －

病院施設番号： 030637 臨床研修病院の名称： 中国労災病院

記入日：西暦2025年 4月30日

病院施設番号 (基幹型、協力型記入) 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030637	臨床研修病院群の名称 (基幹型、協力型記入) 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 番号
作成責任者の氏名及び連絡先 (基幹型、協力型記入) 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ イソガヤ リョウタ 氏名(姓) (名) 磯谷 亮太		役職 (内線 8713) (直通電話(0823) 72 - 7171) e-mail : shomu-4@chugokuh.johas.go.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)
1. 病院の名称 (基幹型、協力型記入)	フリガナ トクリツギョウセイホウジンロウトウシヤケンコウアンゼンキコウ チュウゴクノウサイバョウイン 独立行政法人労働者健康安全機構 中国労災病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 (基幹型・協力型記入)	〒 7 3 7 - 0 1 9 3 (広島 都・道・府・県) 呉市広多賀谷1丁目5番1号 電話：(0823) 72—7171 F A X：(0823) 74—0371 二次医療圏 の名称：呉医療圏		
3. 病院の開設者の氏名(法 人の名称) (基幹型・協力型記入)	フリガナ トクリツギョウセイホウジンロウトウシヤケンコウアンゼンキコウ リジチョウ オニシ ヒロヒデ 独立行政法人労働者健康安全機構 理事長 大西 洋英		
4. 病院の開設者の住所(法 人の主たる事務所の所在 地) (基幹型・協力型記入)	〒 2 1 2 - 0 0 2 1 (神奈川 都・道・府・県) 川崎市中原区木月住吉町1番1号 電話：(044) 431—8600 F A X：(044) 411—5506		
5. 病院の管理者の氏名 (基幹型・協力型記入)	フリガナ クリス 姓 栗栖		カオル 名 薫
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 (基幹型記入)	* 別紙1に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 (基幹型記入)	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス (基幹型・協力型記入)	https://www.chugokuh.johas.go.jp/		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号： 030637

臨床研修病院の名称： 中国労災病院

		※		
9. 医師（研修医を含む。）の員数 （基幹型・協力型記入）			常勤：１０３名、非常勤（常勤換算）：１．８ 名 計（常勤換算）：１０４．８名、医療法による医師の標準員数：４６．３名 ＊ 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式Ａ－３に記入	
10. 救急医療の提供の実績 （基幹型・協力型記入）	救急病院認定の告示		告示年月日：西暦 1967 年 11 月 10 日、告示番号：第 938 号	
	医療計画上の位置付け		１．初期救急医療機関 ②．第二次救急医療機関 ３．第三次救急医療機関	
	救急専用診療（処置）室の有無		① 有 （ 216）m ² ０．無	
	救急医療の実績		前年度の件数： 1 1, 9 4 1 件（うち診療時間外： 8, 3 7 9 件） １日平均件数： 3 2. 7 件（うち診療時間外： 2 3. 0 件） 救急車取扱件数： 3, 7 5 6 件（うち診療時間外： 2, 5 1 3 件）	
	診療時間外の勤務体制		医師： 4 名、看護師及び准看護師： 4 名	
	指導を行う者の氏名等		＊ 別紙 4 に記入	
	救急医療を提供している診療科		内科系（① 有 ０．無） 外科系（① 有 ０．無） 小児科（① 有 ０．無） その他（ 救急部・産婦人科 ）	
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） （基幹型・協力型記入）			1. 一般： 410 床、2. 精神： 床、3. 感染症： 床 4. 結核： 床、5. 療養： 床	
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 （基幹型・協力型記入）			＊ 別紙 2 に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度のの前年度分、研修医の数は報告年度のの前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度のの前年度分、研修医の数は届出年度のの次年度分及び次々年度分の想定を記入。	
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） （基幹型・協力型記入）			1. 一般： 1 4. 0 日、2. 精神： 日、3. 感染症： 日 4. 結核： 日、5. 療養： 日	
14. 前年度の分娩件数 （基幹型・協力型記入）			正常分娩件数： 2 0 0 件、異常分娩件数： 1 0 3 件	
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 （基幹型・協力型記入）	開催回数		前年度実績： 3 回、今年度見込： 3 回 ※報告・届出病院の主催の	
	指導を行う病理医の氏名等		＊ 別紙 4 に記入 下に開催した回数を記入	
	剖検数		前年度実績： 4 件、今年度見込： 4 件	
	剖検を行う場所		当該医療機関の剖検室	① 有 ０．無 （ ）大学、（ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 （基幹型・協力型記入）	研修医の宿舎		① 有（単身用： 8 戸、世帯用： 4 戸） ０．無（住宅手当： 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「０」と記入してください。	
	研修医室		① 有（ 1 室） ０．無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。	
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 （基幹型・協力型記入）	図書室の広さ		（ 218.00 ）m ²	
	医学図書数		国内図書： 3, 6 5 0 冊、国外図書： 5 5 0 冊	
	医学雑誌数		国内雑誌： 2 7 4 種類、国外雑誌： 1 2 2 種類	
	図書室の利用可能時間		００：００ ～ ２４：００ 24 時間表記	
	文献データベース等の利用環境		Medline 等の文献データベース（① 有 ０．無）、教育用コンテンツ（① 有 ０．無）、 その他（ ）	
	医学教育用機材の整備状況		利用可能時間（００：００ ～ ２４：００）24 時間表記 医学教育用シミュレーター（① 有 ０．無）、 その他（ ）	

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号：

臨床研修病院の名称：

18. 病歴管理体制 (基幹型・協力型記入)	病歴管理の責任者の氏名及び役職		フリガナ モリヤ タカシ 氏名(姓) 守屋 (名) 尚 役職 副院長		
	診療に関する諸記録の管理方法		①. 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に:)		
	診療録の保存期間		(1 0) 年間保存		
	診療録の保存方法		①. 文書 ②. 電子媒体 その他(具体的に:)		
19. 医療安全管理体制 (基幹型・協力型記入)	安全管理者の配置状況		①. 有 (1 名) 0. 無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。		
	安全管理部門の設置状況		職員: 専任 (1) 名、兼任 (2 5) 名 主な活動内容: 例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等		
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況		患者相談窓口の責任者の氏名等: フリガナ ナリアイ 効ユキ 氏名(姓) 成合 (名) 孝幸 役職 事務局次長 対応時間 (8 : 1 5 ~ 1 7 : 0 0) 24 時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無: ①. 有 0. 無		
			①. 有 0. 無 指針の主な内容: 医療事故対策の検討及び研究、医療事故の分析及び再発防止対策の検討		
			年 (1 2) 回 活動の主な内容: インシデントレポートの報告及び事故防止対策の検討		
			年 (5) 回 研修の主な内容: 各部署の医療安全対策、取り組み、個人情報保護等		
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		①. 有 0. 無 指針の主な内容: 医療事故対策の検討及び研究、医療事故の分析及び再発防止対策の検討		
	医療に係る安全管理委員会の開催状況		年 (1 2) 回 活動の主な内容: インシデントレポートの報告及び事故防止対策の検討		
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		年 (5) 回 研修の主な内容: 各部署の医療安全対策、取り組み、個人情報保護等		
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策		医療機関内における事故報告等の整備: ①. 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容: 医療安全のための啓発・教育・広報等		
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		修了: 7 名 中断: 名			
21. 現に受け入れている研修医の数 (基幹型・協力型記入)			前々年度	前年度	当該年度
	1 年	7	8	7	
	2 年	8	7	9	
22. 受入可能定員 (基幹型・協力型記入)	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出		許可病床数 (4 1 0) 床 ÷ 10 = (4 1) 名		
	患者数から算出		年間入院患者数 (8, 986) 人 ÷ 100 = (89.86) 名		
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 (基幹型・協力型記入) 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。			1. 精神保健福祉士: 名 (常勤: 名、非常勤: 名)		
			2. 作業療法士: 名 (常勤: 名、非常勤: 名)		
			3. 臨床心理技術者: 名 (常勤: 名、非常勤: 名)		
			9. その他の精神科技術職員: _____ 名 (常勤: 名、非常勤: 名)		
24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 (基幹型記入) JCPE による評価受審の有無を記載してください。			①. 有 (2 0 2 3 年 1 0 月 1 日) 0. 無 有を選択した場合には、直近の受審日を記入してください。 受審状況有りの場合、結果の公表 1. 有 0. 無		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 4 －

病院施設番号：030637
 臨床研修病院の名称：中国労災病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※			
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)			＊ 別紙 5 に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。		
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)			女性 1 年次研修医 (0) 名 2 年次研修医 (0) 名 男性 1 年次研修医 (0) 名 2 年次研修医 (0) 名		
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所		院内保育所の有無 ((1.) 有 0. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください (時 分 ～ 時 分) 病児保育 (1. 有 (0) 無) 夜間保育 (1. 有 (0) 無) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か ((1.) 可 0. 不可)		
	保育補助		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1. 有 (0) 無) その他の補助 (具体的に：)		
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所 (1. 有 (0) 無) 授乳スペース (1. 有 (0) 無)		
	その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入)		()		
	研修医のライフイベントの相談窓口		(1.) 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 (チューター・メンター) 窓口の専任担当 1. 有 (名) 0. 無		
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入 (ハラスメント院内相談窓口) 窓口の専任担当 (1.) 有 (4 名) 0. 無		
	※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。				
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称： プログラム番号：		
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)			1 年次： 名、2 年次： 名		
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先		フリガナ 氏名 (姓) (名) 所属 役職 電話： F A X : e-mail : URL :		
		資料請求先		住所 〒 - 担当部門 担当者氏名 総務課 姓 名 電話： F A X : e-mail : URL :	

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号： _____ 臨床研修病院の名称： _____

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

30. 研修医の募集及び採用の方法（続き） （基幹型記入）		募集方法		1. 公募 2. その他（具体的に： ）			
		応募必要書類 （複数選択可）		1. 履歴書、2. 卒業（見込み）証明書、3. 成績証明書、 4. 健康診断書、5. その他（具体的に： 研修希望理由書 ）			
		選考方法 （複数選択可）		1. 面接 2. 筆記試験 その他（具体的に： ）			
		募集及び選考の時期		募集時期： 月 日頃から 選考時期： 月 日頃から			
		マッチング利用の有無		1. 有 0. 無			
31. 研修プログラムの名称及び概要 （基幹型記入）				概要：＊別紙3に記入 （作成年月日：西暦年 月 日）			
32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） （基幹型記入） ＊プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入 ＊副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入				（プログラム責任者） フリガナ <table><tr><td>氏名（姓）</td><td>氏名（名）</td></tr></table> 所属 役職 （副プログラム責任者） 1. 有（ 名 ） 0. 無		氏名（姓）	氏名（名）
氏名（姓）	氏名（名）						
33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 （基幹型記入） 全ての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。				＊別紙4に記入			
34. インターネットを用いた評価システム				1. 有（ ・EPOC ・その他（ ）） 0. 無			
35. 研修開始時期 （基幹型、地域密着型記入）				西暦年 月 日			
36. 研修医の処遇 （基幹型・協力型記入）		処遇の適用 （基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）		1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 2. 病院独自の処遇とする。			
		常勤・非常勤の別		1. 常勤 2. 非常勤			
		研修手当		一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（円） 賞与／年（円）	二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（円） 賞与／年（円）		
				時間外手当： 1. 有 0. 無 休日手当： 1. 有 0. 無			
		勤務時間		基本的な勤務時間（ ）24時間表記 休憩時間（ ） 時間外勤務の有無： 1. 有 0. 無			
		休暇		有給休暇（1年次： 日 、2年次： 日 ） 夏季休暇（ 1. 有 0. 無 ） 年末年始（ 1. 有 0. 無 ） その他休暇（具体的に： ）			
		当直		回数（約 4 回／月）			
		研修医の宿舍（再掲）		1. 有（単身用： 戸 、世帯用： 戸 ） 0. 無（住宅手当： 円 ） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。			
		研修医室（再掲）		1. 有（ 室 ） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。			
		社会保険・労働保険		公的医療保険（ ） 公的年金保険（ ） 労働者災害補償保険法の適用（ 1. 有 0. 無 ）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（ 1. 有 0. 無 ） 雇用保険（ 1. 有 0. 無 ）			

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号：
 臨床研修病院の名称：

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） （基幹型・協力型記入）	健康管理		健康診断（年 回） その他（具体的に
	医師賠償責任保険の扱い		病院において加入（1. する 0. しない） 個人加入（1. 強制 . 任意）
	外部の研修活動		学会、研究会等への参加：1. 可 0. 否
			学会、研究会等への参加費用支給の有無：1. 有 0. 無
	院内保育所（再掲）		院内保育所の有無 （1. 有 0. 無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください （7時30分 ～17時30分（19時00分まで延長可）
			病児保育 （1. 有 0. 無） 夜間保育 （1. 有 0. 無）
			上記保育所は研修医の子どもに使用可能か （1. 可 0. 不可）
	保育補助（再掲）		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 （1. 有 0. 無）
			その他の補助（具体的に：
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）		休憩場所 （1. 有 0. 無） 授乳スペース （1. 有 0. 無）
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）		（
研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）		1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入（ ） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） 0. 無	
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）		窓口の名称を記入（ ） 窓口の専任担当 1. 有（ 4名） 0. 無	
37. 研修医手帳 （基幹型記入）			1. 有 0. 無
38. 連携状況 （基幹型記入）			* 様式A-6に記入

※欄は、記入しないこと。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和 6 年度開催回数 3 回）

病院施設番号：030637 臨床研修病院の名称：中国労災病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ フジワラ ヒサヤ		中国労災病院	副院長	初期臨床研修管理委員会委員長 プログラム責任者、臨床研修指導医
姓 藤原	名 久也			
フリガナ フクダ トシカツ		中国労災病院	部長	臨床研修指導医 副プログラム責任者
姓 福田	名 敏勝			
フリガナ コバヤシ カナオ		中国労災病院	部長	臨床研修指導医 副プログラム責任者
姓 小林	名 加直			
フリガナ クリス カオル		中国労災病院	院長	臨床研修指導医 臨床実施責任者
姓 栗栖	名 薫			
フリガナ マスダ ヤスジ		中国労災病院	副院長	臨床研修指導医
姓 益田	名 泰次			
フリガナ モリヤ タカシ		中国労災病院	副院長	臨床研修指導医
姓 守屋	名 尚			
フリガナ ヒガシヤマ マコト		中国労災病院	部長	臨床研修指導医
姓 東山	名 真			
フリガナ マツダ ケイジ		中国労災病院	部長	臨床研修指導医
姓 松田	名 圭司			
フリガナ シオタ ナオキ		中国労災病院	部長	臨床研修指導医
姓 塩田	名 直樹			
フリガナ ハマサキ タカヒコ		中国労災病院	部長	臨床研修指導医
姓 濱崎	名 貴彦			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和6年度開催回数3回）

病院施設番号：030637 臨床研修病院の名称：中国労災病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ キタムラ タケシ	中国労災病院	部長	臨床研修指導医
姓 北村 名 健			
フリガナ コニシ ナカオ	中国労災病院	部長	臨床研修指導医
姓 小西 名 央郎			
フリガナ クマノ キヨシ	中国労災病院	部長	臨床研修指導医
姓 熊野 名 潔			
フリガナ ホリ イクコ	中国労災病院	部長	臨床研修指導医
姓 堀 名 郁子			
フリガナ タニ リョウジ	中国労災病院	部長	臨床研修指導医
姓 谷 名 亮治			
フリガナ スミダ マスミ	中国労災病院	部長	臨床研修指導医
姓 隅田 名 ますみ			
フリガナ オガワ トモユキ	中国労災病院	部長	臨床研修指導医
姓 小川 名 知幸			
フリガナ サカイ ヒロシ	中国労災病院	医師	臨床研修指導医
姓 酒井 名 浩			
フリガナ トミヨシ アケミ	中国労災病院	副院長 看護部長	
姓 富吉 名 明美			
フリガナ ナカハラ カズミ	中国労災病院	看護副部長	
姓 中原 姓 和美			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和6年度開催回数3回）

病院施設番号：030637 臨床研修病院の名称：中国労災病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ スガワラ ヨウコ	中国労災病院	医療安全管理者	
姓 菅原 名 葉子			
フリガナ フナコシ サチヨ	中国労災病院	薬剤部長	
姓 船越 名 幸代			
フリガナ ハシグチ カズヒロ	中国労災病院	中央放射線部長	
姓 橋口 名 和博			
フリガナ コバヤシ シゲミ	中国労災病院	中央検査部長	
姓 小林 名 重己			
フリガナ イワミ ケンジ	中国労災病院	中央リハビリテーション部長	
姓 岩見 名 憲司			
フリガナ ハバラ エイジ	中国労災病院	中央臨床工学部長	
姓 羽原 名 詠治			
フリガナ ソトウラ タカコ	中国労災病院	栄養管理部長	
姓 外裏 名 貴子			
フリガナ タナカ マサアキ	中国労災病院	事務局長	
姓 田中 名 正明			
フリガナ アライ タカヒロ	中国労災病院	事務局次長	
姓 新井 名 貴博			
フリガナ ニシオカ カツヒコ	中国労災病院	総務課長	
姓 西岡 名 勝彦			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和6年度開催回数3回）

病院施設番号：030637 臨床研修病院の名称：中国労災病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ トクナガ タダヒロ	呉医療センター	科長	臨床研修指導者
姓 徳永 姓 忠浩			
フリガナ フジムラ キンゴ	安田女子大学	広島大学名誉教授	外部委員
姓 藤村 名 欣吾			
フリガナ サキモト ヒデト	呉市医師会病院	院長	研修実施責任者
姓 先本 名 秀人			
フリガナ ナガオ マサツグ	医療法人緑風会 ほうゆう病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 長尾 名 正嗣			
フリガナ ナガオ サエコ	医療法人 正雄会 呉みどりヶ丘病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 長尾 名 早江子			
フリガナ タカミ ヒロシ	ふたば病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 高見 名 浩			
フリガナ イトウ ヒロユキ	済生会呉病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 伊藤 名 博之			
フリガナ シラカワ タイザン	マッターホルン リハビリテーション病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 白川 名 泰山			
フリガナ カワオカ コウイチロウ	呉共済病院	部長	臨床研修指導者
姓 川岡 名 孝一郎			
フリガナ タボ タカノリ	公立下蒲刈病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 多保 名 孝典			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和6年度開催回数3回）

病院施設番号：030637 臨床研修病院の名称：中国労災病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ スガタ ムネキ	医療法人社団たつき会 菅田医院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 菅田 名 宗樹			
フリガナ ババ ヒロシ	医療法人楽生会 馬場病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 馬場 名 広			
フリガナ ヨシナカ ケン	一般財団法人広島結核予防協会 住吉浜病院	院長	研修実施責任者
姓 吉中 名 建			
フリガナ イシイ テツオ	医療法人社団 石井外科診療所	院長	研修実施責任者
姓 石井 名 哲朗			
フリガナ アオキ ヒロミ	医療法人社団 仁風会 青木病院	院長	研修実施責任者
姓 青木 名 博美			
フリガナ オオタニ マリ	医療法人社団 大谷会 島の病院 おおたに	院長	研修実施責任者
姓 大谷 名 まり			
フリガナ イトウ マサノリ	広島大学病院	教授	研修実施責任者
姓 伊藤 名 公訓			
フリガナ ワケ トオル	沖縄県立八重山病院	院長	研修実施責任者
姓 和氣 名 亨			
フリガナ スミヨシ ムツヒト	医療法人社団 住吉医院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 住吉 名 睦人			
フリガナ モリ カズヒコ	医療法人健応会 呉やけやま病院	院長	研修実施責任者
姓 森 名 和彦			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和6年度開催回数3回）

病院施設番号：030637 臨床研修病院の名称：中国労災病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ フジユウジ		大島医療センター	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 藤井	名 佑二			
フリガナ オクヤマ コウイチロウ		秋田労災病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
姓 奥山	名 幸一郎			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

7. 病院群の構成等

様式A－10別表

基幹型又は地域密着型臨床研修病院の名称（所在都道府県） 中国労災病院 （ 広島県 ）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
広島県	呉	中国労災病院 (病院施設番号:030637)		広島県	呉		呉共済病院 (病院施設番号:030638)		広島県	呉		公立下蒲刈病院 (病院施設番号:096346)		中国労災病院臨床研修プログラム	8
				広島県	呉		ふたば病院 (病院施設番号:034071)		広島県	呉		済生会呉病院 (病院施設番号:031929)			
				広島県	呉		医療法人社団緑風会 ほうゆう病院 (病院施設番号:031927)		広島県	呉		マッターホルン リハビリテーション病院 (病院施設番号:178556)			
				広島県	呉		医療法人正雄会 呉みどりヶ丘病院 (病院施設番号:189049)		広島県	呉		医療法人社団たつき会 菅田 医院 (病院施設番号188992)			
				広島県	広島		国立大学法人 広島大学病院 (病院施設番号:030633)		広島県	呉		医療法人社団 住吉医院 (病院施設番号:188993)			
				広島県	呉		呉やけやま病院 (病院施設番号:201001)		広島県	広島中央		医療法人楽生会 馬場病院 (病院施設番号:)			
				広島県	呉		呉医療センター (病院施設番号:030636)		広島県	呉		医療法人社団仁風会 青木病院 (病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)		広島県	呉		医療法人社団大谷会 島の病院おたに (病院施設番号: 096345)			
							(病院施設番号:)		広島県	呉		一般法人社団広島予防結核予 防協会 住吉浜病院 (病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)		広島県	呉		医療法人社団 石井外科診療所 (病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)		広島県	呉		呉市医師会病院 (病院施設番号:)			
							(病院施設番号:)		東京都	島しょ		大島医療センター (病院施設番号: 036378)			
							(病院施設番号:)		沖縄県	八重山		沖縄県立八重山病院 (病院施設番号: 032261)			
							(病院施設番号:)		秋田県	大館・鹿角		秋田労災病院 (病院施設番号: 031218)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

- ※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成する全ての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。
- ※ 当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む。）を「研修プログラム」欄に記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

										臨床研修病院の名称：中国労災病院									
										病院施設番号：030637									
区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 （部門）	小 児 科	産婦人科	又 は		精 神 科	病 院 で 定 め た 必 修 科 目 の 診 療 科	その他の研修を行う診療科								合 計
							産 科	婦 人 科		整 形 外 科	脳 神 経 内 科	脳 神 経 外 科	心 臓 血 管 外 科	皮 膚 科	泌 尿 器 科	耳 鼻 咽 喉 科	リ ハ 科	放 射 線 診 断 科	
年間入院患者実数 （ ）内は救急件数又は分娩件数	3,466	(11,941)	965	-	576	526 (278)			-	1,804	461	208	44	93	559	284	-	0	8,986
年間新外来患者数	5,028		723	113	620	541			0	3,184	677	709	124	1,147	729	921	2,725	1,007	18,248
1日平均外来患者数 （ ）内は年間外来診療日数	224.6 (243)	(365)	40.4 (243)	39.3 (243)	34.3 (243)	36.7 (243)			3.2 (243)	140.8 (243)	36.4 (243)	16.1 (243)	14.4 (243)	36.7 (243)	43.0 (243)	37.4 (243)	225.2 (243)	18.8 (243)	
平均在院日数	13.2		11.8	-	5.5	7.1				21.6	19.6	32.2	19.3	13.7	7.1	7.3	-	0.0	
常勤医師数 （うち臨床研修指導医（指導医）数）																			

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和6年度分)								臨床研修病院の名称：中国労災病院						
								病院施設番号：030637						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
中国労災病院	内科	4	4	5	3	4	4	4	3	3	2	5	4	3
	救急部門	1	2	1	1	2	1	1	2	1		1	2	1
	外科	2	2		2	2			1	2	1	1	2	1
	麻酔科	1		1	1		1	1		1		1		1
	小児科		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	産婦人科	1						1			1	1		
	整形外科			1	1		1	1	1	1	1			1
広島大学病院	救急部門		1			1	1	1		1				
呉共済病院	産婦人科				1	1	1	1			1		1	
	内科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和7年度分)								臨床研修病院の名称：中国労災病院						
								病院施設番号：030637						
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
中国労災病院	内科	4	4	5	3	4	4	4	3	3	2	5	4	3
	救急部門	1	2	1	1	2	1	1	2	1		1	2	1
	外科	2	2		2	2			1	2	1	1	2	1
	麻酔科	1		1	1		1	1		1		1		1
	小児科		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	産婦人科	1						1			1	1		
	整形外科			1	1		1	1	1	1	1			1
広島大学病院	救急部門		1			1	1	1		1				
呉共済病院	産婦人科													
	内科	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1		

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030637401

病院施設番号： 030637

臨床研修病院の名称： 中国労災病院

臨床研修病院群番号：

臨床研修病院群名：

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	中国労災病院臨床研修プログラム					
2. 研修プログラムの特色	病院の理念である「働く人と地域の人のために患者中心の良質な医療を提供します」が行える医師を養成するとともに、プライマリ・ケア、救急医療、地域医療、勤労者医療の充実を基本とし、それを踏まえた上での高度専門医の理解実践を指導する。					
3. 臨床研修の目標の概要	将来専攻する専門科に関わらず、個性豊かな臨床医育成のため、幅広く日常診療の基本となるプライマリ・ケアの知識、技術、態度の習得を目指す。また、医の倫理を体得し、医師としての資質の向上を図ることを目的とする。					
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)					
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。					
5. 臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間) * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。					
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来		
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週		
必修科目・分野	内科	030637	中国労災病院	24週	2週	
	救急部門	030637	中国労災病院	8週		
	地域医療	096346・031929・178556・188992・188993	公立下蒲刈病院・済生会呉病院・マッターホルンリハビリテーション病院・菅田医院・住吉医院・馬場病院・青木病院・島の病院 おおたに・住吉浜病院・石井外科診療所・呉市医師会病院・大島医療センター・沖縄県立八重山病院・秋田労災病院	4週	一般外来 1週 在宅診療 1週	
	外科	030637	中国労災病院	8週	1週	
	小児科	030637	中国労災病院	4週	1週	
	産婦人科	030637	中国労災病院	4週		
	精神科	034071・031927・189049・201001	ふたば病院・ほうゆう病院・呉みどりヶ丘病院・呉やけやま病院	4週		
	一般外来	030637	中国労災病院	週		
	病院で定めた必修科目	整形外科	030637	中国労災病院	4週	
		麻酔科	030637	中国労災病院	4週	
				週		
				週		
選択科目	選択	030637	中国労災病院	~40週	週	
	腎臓内科	030638	呉共済病院	4週	週	

	血液内科	030636	呉医療センター	4 週	
	リウマチ・膠原病科	030636	呉医療センター	4 週	
	眼科	030633	広島大学病院	4 週	
				週	
備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 52 週 臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12 週 研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修を並行研修で行う場合、残りの週数としてみなす休日・夜間の当直回数 約 0 回 救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週 一般外来の研修を行う診療科・・・内科、外科、小児科 1. 必修科目 内科（24 週）、救急部門（12 週）、地域医療（4 週）、外科（8 週）、小児科（4 週）、産婦人科（4 週）、精神科（4 週） （1）内科 研修期間は 1 年次に 24 週以上とする。 （消化器内科 8 週、脳神経内科 4 週、循環器内科 6 週、呼吸器内科 6 週） （2）救急部門 救急研修は、1 年次に 12 週以上（うち麻酔科含）行う。 （3）地域医療：地域医療研修は、2 年次に 4 週行う。地域医療の研修は、協力型施設で行う （4）外科：外科での研修を 1 年次に 8 週行う （5）小児科：小児科の研修を 4 週行う （6）産婦人科：産婦人科の研修を 4 週行う （7）整形外科：整形外科の研修を 4 週行う （8）精神科：精神科の研修を 4 週行う（※精神科の研修は、協力型病院で行う） 2. 選択科目 1 年次および 2 年次に合計 40 週研修（最大）する。 消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、代謝内分泌科、脳神経内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、腎泌尿器外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、麻酔科、救急部・総合診療部、リハビリテーション科（中国労災病院） 腎臓内科（呉共済病院）希望者のみ 血液内科、リウマチ・膠原病科（呉医療センター）2 年次に希望者のみ 眼科（広島大学病院）2 年次に希望者のみ 精神科（協力型病院）2 年次に希望者のみ 地域医療（協力型施設）2 年次に希望者のみ					

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号

病院施設番号： 030637

臨床研修病院の名称:中国労災病院

は、既に取得されている場合に記入してください。

臨床研修病院群番号：

臨床研修病院群名：

6. 研修スケジュール (←年次・二年次：いずれかに○)

プログラム番号 030637401

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野＊２	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科	5												
中国労災病院 (030637)	内科 (必修)	4 4 4 4	4 4 4 4	4 4 4 4	4 4 4 4	4 4 4 4	4 4 4 4	4 4 4 4	4 4 4 4	4 4 4 4	4 4 4 4	4 4 4 4	4 4 4 4	4 4 4 4
中国労災病院 (030637)	外科 (必修)	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2
中国労災病院 (030637)	整形外科 (必修)	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1
中国労災病院 (030637)	救急部門 (必修)	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2
中国労災病院 (030637)	麻 酔 科 (必修)	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1
中国労災病院 (030637)	産婦人科 (必修)	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1
中国労災病院 (030637)	小 児 科 (必修)	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1
中国労災病院 (030637)	選択科目	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3
呉共済病院 (030638)	腎臓内科						1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1

＊１：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。

＊２：「研修分野」欄には、「５．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊３：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

[illegible]

* 1 : 臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

* 2 : 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

* 3 : 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030637

臨床研修病院の名称： 中国労災病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
内科	松田 圭司	中国労災病院	部長	33	○	日本循環器学会専門医	中国労災病院臨床研修プログラム	4
外科	福田 敏勝	中国労災病院	部長	35	○	日本外科学会専門医 消化器外科学会専門医	中国労災病院臨床研修プログラム	2、4
心臓血管 外科	季白 雅文	中国労災病院	部長	36	○	心臓血管外科専門医 日本外科学会専門医	中国労災病院臨床研修プログラム	4
脳神経 外科	栗栖 薫	中国労災病院	院長	44	○	脳神経外科専門医	中国労災病院臨床研修プログラム	3、4
整形外科	濱崎 貴彦	中国労災病院	部長	27	○	日本整形外科学会専門医	中国労災病院臨床研修プログラム	4
内科	守屋 尚	中国労災病院	副院長	42	○	日本内科学会総合内科専門 医	中国労災病院臨床研修プログラム	4
内科	塩田 直樹	中国労災病院	部長	26	○	日本呼吸器学会専門医 日本アレルギー学会専門医	中国労災病院臨床研修プログラム	4

※ 「担当分野」欄には、様式 A-10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

(No. 2)

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030637

臨床研修病院の名称： 中国労災病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
内科	宮内 晃	中国労災病院	医員	38	○	日本内科学会総合内科専門 医	中国労災病院臨床研修プログラ ム	4
脳神経 内科	北村 健	中国労災病院	部長	32	○	日本内科学会総合内科専門 医	中国労災病院臨床研修プログラ ム	4
小児科	小西 央郎	中国労災病院	部長	37	○	日本小児科学会専門医 日本小児循環器学会専門医	中国労災病院臨床研修プログラ ム	4
脳神経 外科	熊野 潔	中国労災病院	部長	35	○	日本脳神経学会専門医	中国労災病院臨床研修プログラ ム	4
皮膚科	堀 郁子	中国労災病院	部長	20	○		中国労災病院臨床研修プログラ ム	4
泌尿器科	小林 加直	中国労災病院	部長	26	○	日本泌尿器科学会専門医、指 導医	中国労災病院臨床研修プログラ ム	2、4
産婦人科	藤原 久也	中国労災病院	副院長	39	○	日本産婦人科学会専門医、指 導医	中国労災病院臨床研修プログラ ム	1、4

※ 「担当分野」欄には、様式 A-10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030637

臨床研修病院の名称： 中国労災病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
内科	沼田 義弘	中国労災病院	部長	29	○	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医	中国労災病院臨床研修プログラ ム	4
耳鼻 咽喉科	小川 知幸	中国労災病院	部長	27	○	日本耳鼻咽喉科学会専門医	中国労災病院臨床研修プログラ ム	4
放射線 診断科	隅田 ますみ	中国労災病院	部長	38	○	放射線診断専門医 PET 核医学認定医	中国労災病院臨床研修プログラ ム	4
麻酔科	日高 昌三	中国労災病院	医員	39	○	日本麻酔科学会専門医、指導 医	中国労災病院臨床研修プログラ ム	4
放射線 診断科	児玉 久幸	中国労災病院	医長	21	○		中国労災病院臨床研修プログラ ム	4
整形外科	益田 泰次	中国労災病院	副院長	39	○	日本整形外科学会専門医、指 導医	中国労災病院臨床研修プログラ ム	4
外科	高橋 護	中国労災病院	部長	35	○	日本外科学会認定医 日本乳癌学会認定医	中国労災病院臨床研修プログラ ム	4

※ 「担当分野」欄には、様式 A-10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7 年（84 月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030637

臨床研修病院の名称： 中国労災病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
外科	藤崎 成至	中国労災病院	部長	32	○	日本外科学会専門医	中国労災病院臨床研修プログラム	4
内科	久賀 祥男	中国労災病院	医長	38	○	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医	中国労災病院臨床研修プログラム	4
小児科	岩本 立	中国労災病院	部長	23	○	日本小児科学会専門医	中国労災病院臨床研修プログラム	4
整形外科	藤本 英作	中国労災病院	部長	37	○	日本整形外科学会専門医、指導医	中国労災病院臨床研修プログラム	4
内科	毛利 輝生	中国労災病院	部長	20	○	日本消化器病学会専門医	中国労災病院臨床研修プログラム	4
心臓血管 外科	酒井 浩	中国労災病院	部長	34	○	日本外科学会専門医 日本救急医学会専門医	中国労災病院臨床研修プログラム	4
内科	秋田 慎	中国労災病院	部長	23	○	日本内科学会総合内科専門 医	中国労災病院臨床研修プログラム	4

※ 「担当分野」欄には、様式 A-10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7 年（84 月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030637

臨床研修病院の名称： 中国労災病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
産婦人科	ト部 理恵	中国労災病院	部長	24	○	日本産婦人科学会専門医、指導医	中国労災病院臨床研修プログラム	4
麻酔科	古賀 知道	中国労災病院	部長	30	○	日本麻酔科学会専門医、指導医	中国労災病院臨床研修プログラム	4
内科	渡 雄一郎	中国労災病院	部長	27	○	日本内科学会認定総合内科専門医	中国労災病院臨床研修プログラム	4
整形外科	中崎 蔵人	中国労災病院	部長	24	○	日本整形外科学会認定整形外科専門医	中国労災病院臨床研修プログラム	4
小児科	谷 博雄	中国労災病院	医長	17	○	日本小児科学会認定小児科専門医	中国労災病院臨床研修プログラム	4
小児科	小野 大地	中国労災病院	医長	15	○	日本小児科学会認定小児科専門医	中国労災病院臨床研修プログラム	4
代謝内分 泌科	吉井 陽子	中国労災病院	部長	15	○		中国労災病院臨床研修プログラム	4

※ 「担当分野」欄には、様式 A-10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7 年（84 月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

(No. 6)

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030637

臨床研修病院の名称： 中国労災病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
放射線 診断科	太刀掛 俊博	中国労災病院	部長	26	○	放射線診断専門医 PET 核医学認定医	中国労災病院臨床研修プログラ ム	4
内科	東山 真	中国労災病院	部長	21	○	日本内科学会認定医・総合内 科専門医・指導医	中国労災病院臨床研修プログラ ム	4
脳神経 内科	杉浦 智仁	中国労災病院	部長	19	○	日本神経学会神経内科専門 医	中国労災病院臨床研修プログラ ム	4

※ 「担当分野」欄には、様式 A-10 別紙 3 の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7 年（84 月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

25. 臨床研修病院群の時間外・休日労働最大想定時間数の記載（基幹型記入）

基幹型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：独立行政法人労働者健康安全機構 中国労災病院 （広島県）

研修プログラムの名称 中国労災病院臨床研修プログラム

病院名	病院施設番号	種別	所在都道府県	時間外・休日労働 （年単位換算） 最大想定時間数	おおよその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載	参考 時間外・休日労働 （年単位換算） 前年度実績	C-1水準 適用
中国労災病院	030637	基幹型	広島県	960時間	月4回程度（宿日直許可有）	約559時間 （対象者15名の平均）	適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定

- ※ 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入すること。
研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度（プログラム開始年度）の想定を記入すること。
- ※ 該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭にして、研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院について、施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成する基幹型臨床研修病院及び研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院の病院施設番号、病院種別（基幹型・協力型）、所在都道府県、時間外・休日労働（年単位換算）の最大想定時間数、おおよその当直・日直回数（宿日直許可が取れている場合はその旨）、前年度の時間外休日労働の年単位換算実績及び、C-1水準適用の状況を記入すること。
- ※ 最大想定時間数は、プログラムに従事する臨床研修医が、該当する研修病院において実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実態と乖離することのないよう、適切に記入すること。
- ※ 臨床研修医においては、従事する全ての業務が研修プログラムに基づくものとなるため、A水準又はC-1水準しか適用されないことに留意すること。